守ろう！日本の宝「憲法九条」

日本共産党中央区議団ニュース　週１回発行

お元気ですか！
志 村 たかよし です

第８６８号　2017年12月10日

日本共産党中央区議団

中央区　築地 １－１－１
電　話 ３５４６-５５６３
ＦＡＸ ３５４６-９５７０

国や都、デベロッパーの「出先機関」として区を動かす

吉田不曇氏の副区長選任（４期目）に反対しました

11月30日の本会議に、吉田不曇副区長の４期目の選任同意を求める議案が区長から提出されました。

私は、本会議で選任に反対する理由を次のように述べました。

＊　＊

日本共産党の志村たかよしです。

議案第七十三号「中央区副区長の選任同意について」の反対意見を述べます。

本議案は、副区長に吉田不曇氏の選任同意を求めるものです。

日本共産党は、「二人副区長」を批判していますが、吉田氏の選任は、前代未聞の４期目という異常さは、もちろんのこと、それにとどまらない、重大な問題があると考えます。

国や都と「東京一極集中」を促進

11月24日の本会議における吉田副区長の発言で、吉田氏が「東京一極集中」の都市計画を進めるにあたって、国や都、そして、デベロッパーのお先棒を担いでいることが、浮き彫りになりました。

中央区のまちづくりは、都市計画を企業の利益獲得のツールとする土建行政の姿と、弱肉強食の新自由主義の思想が具現化されており、これは、住民のためになるとは言えません。

都市計画を不動産投資や大企業のために活用することは、地方自治体のあり方に逆行していると考えます。

そのために、様々な問題が、中央区行政に生まれていることを、この機会に指摘させていただきます。

第１に、中央区の文化と伝統や区民生活を破壊する「まちづくり」が進められていることです。

人情あふれる街が、ビル風吹きすさぶまちになってしまいました。

中央区の下町の風情や長屋と路地文化、八重洲などの歴史ある街並みが破壊されることに怒りと批判の声が広がっています。

吉田不曇氏の経歴

1970年　建設部建築課
1984年　建築部再開発課再開発技術主査
1985年　建築部副主幹
1987年　建築部地域整備課長
1992年　都市整備部地域整備第一課長
1994年　都市整備部都市計画課長
1998年　都市整備部参事
2000年　都市整備部長
2003年　企画部長
2005年　助役
2007年　副区長（名称変更）
2009年　副区長
2013年　副区長
2017年　副区長

湊２丁目から見た佃・月島。これからもタワーマンションが林立する予定です。

第2に、喫緊の課題である木造家屋や長屋の再生・更新よりも、大企業が莫大な利益を上げる大規模開発に力を注いでいることです。

区民のためのまちづくりこそ、地方自治体が進めるべきまちづくりです。

湊から京橋方面。東京駅前や日本橋川周辺では、さらなる超高層ビル計画が続々と。

第3に、民間デベロッパー主体の乱開発による急激な人口増のゆがみが行政課題の深刻さを増幅させていることです。

新「基本構想」の大きなテーマが、人口急増に追い付かないインフラ整備や区民サービスの低下などへの対応策となっていることが証明しています。

この対応に振り回される職員の苦労は、大変なものだと思います。

第4に、築地市場移転問題、環状2号線問題などでも、区のミスリードによる混迷が起きていることです。

築地市場移転に地元中央区が、断固として反対し続けていたら、事態は大きく変わっていたことに疑いの余地はありません。移転前提の築地魚河岸の整備や維持管理などの財政負担も軽視できません。

また、環状2号線も当初計画のように、地下構造になっていれば、築地市場があっても開通できたはずです。

晴海の交通課題の様々な検討・調整も「築地市場移転の呪縛」にとらわれず、早期に取り組めていたでしょう。

汐留の高層ビルから見える築地市場。

行政の深刻さと混迷の要因を作る

これらの問題で、区民の立場にたった意見や問題提起に対し、真っ向から否定する答弁の先頭に立ち、展望が持てない行政課題の深刻さと混迷の要因を作ってきたのは、吉田氏ではないでしょうか。

長期体制は行政の硬直化を招く

長期にわたる矢田・吉田体制によって、行政の硬直化を招き、創造性あふれる柔軟性を持った施策の展開が阻まれてしまうことを、たいへん危惧するものです。

副区長は、一人にし、区職員の英知を結集して、行政施策を集団的に推進させるなかで、職員の多様な能力が、いかんなく発揮されてこそ、健全で魅力的な創造性にあふれた中央区政の発展につながると確信します。

以上で、議案第七十三号「中央区副区長の選任同意について」の反対意見の開陳を終わります。

ご清聴ありがとうございました。

＊　＊

採決で日本共産党は反対しましたが、賛成多数で吉田氏の4期目の副区長選任が同意されました。

吉田副区長を先頭に、住民犠牲の「まちづくり」がこれからも進められることでしょう。

「住民が主人公」となる街を作るために、「中央区のまちづくり」を検証していきます。

検証内容は本誌の連載としてご報告します。

phot by shimura

ブログもごらんください　志村たかよしワールド　検索